

皆さんからお寄せいただいた

『赤湯』・『梅林食堂』・『かくは宮川』・『ハイローザ』の思い出集

【赤湯の思い出】

■昭和10年生まれで、第一大成国民学校に入りました。赤湯の娘さん、ゆきちゃんと一緒にです。その後、クラス会でも逢えず、お元気でしょうか。私の娘も、赤湯の長男さんの娘さんと同じ学校に入りました。お姉さんも化粧品で知り合いますが、皆さん元気であることを祈ってやみません。／三浦京子さん

■赤湯は生活の一部で利用している客も多かったのですが、客同士の憩いの場でありながらも、残念ですが客のためのサービスが無かったと記憶しています。私も家族で通っていました。お風呂は入って気持ちよさっぱりするものですが、6人入ればいっぱい浴槽は二つとも汚れやにおいが常にあったという記憶があります。



【梅林食堂の思い出】

■昭和10年生まれです。一大小学校の太鼓が梅林さんにお嫁に行ったと聞きましたか？ラーメンと握り飯が大好きでした。／三浦京子さん

■梅林食堂の写真ですが、店の中で撮影することはほとんど無かったと思います。365日休むことなく営業してました。父は明治大学出身で、俳優の高倉健さんとは親友でした。よって弘前で何かの撮影があると、ほかの役者さんもよんで来店していただきました。なんらかの形で皆様の記憶にあるのはとても嬉しいです。父は常に食べ物で心が満たされればと思っていたようです。母は東京出身で料亭の娘で、舌も肥えてましたので、味には二人ともうるさかったです。梅林食堂が衰退していく中で私が生まれましたが、夫婦でがんばって営業を続け、休みなく働き続けた分、店を閉めてからは行きたい所へ行けたことは良かったと思います。年賀状に郵便番号も住所も書いてなくても「梅林」だけで届いたのは今でも笑えます。／梅林食堂のご家族の方から



【かくは宮川の思い出】

■4階の食堂のライスカレー(当時はカレーライスとか言いませんでした)、ミルクケーキが好きでした。

■5階の遊技場で、巫女さんが持ってくるおみくじはカルチャーショックだった。かくはの鬼は、球が当たると目が真っ赤になり棍棒を上下し、大きな音を出す。ところがなかなか当たらず、当たるまで投げたことがあった。

■エレベーターの案内係のきれいな女性(もちろん美声)がいて、各階の案内をしていたのが懐かしい。蛇腹式の扉(二重扉)も不思議でした。

■子供の頃、学用品や制服などを買う以外は親に連れて行ってもらえませんでした。土手町商店街とは別格だったようです。

■『山下清展』で本人が来店したのが今でも記憶に残っています。山形県の即身仏展も異様な感触を得ました。後に一人旅をして、その寺を訪ねるほどインパクトがありました。

■おみくじ・かくはの鬼が楽しみだった。年度末になると女子高校生が制服で実習をしていたのを見えています。／工藤和夫さん

■ボールを当てるとおーって動く鬼、巫女さんが持ってくるおみくじ、等ありますが、何回もデパートの中で迷子になり閉店時刻を告げるホテルノヒカリを聞きながら泣いていたのは今でも鮮明に覚えています。おかげで50歳過ぎてもホテルノヒカリはトラウマ/breakfast キャンウエイトさん



■大正ロマンの建物だあ…／雪さん

■ハイローザ世代なもんで直接の思い出はありませんが、小学校の先生や大人達が事あるごとに『かくはの馬ッコ』というワードを出していたなあ。／R°さん

■鬼にボールをぶつけるのが好きだったなあ。／Tsukutsukuさん

■待ってましたかくは宮川 なつかしい～ 小1くらいに連れてってもらった時に『ミ行展』が開催されて、ガラスケースに赤やルヅ色の袈裟をまとったミ行が…夢じゃありませんように／ワウさん

【ハイローザの思い出】

■ハイローザといえば。最上階が公開スタジオでした。県民には三ツ矢自動車学校のCMソングでおなじみの清水宏次朗が来た時に中学の制服を来て行ったら、変わった制服だったので話のネタにされた思い出があります。ローマ字でHI ROSAで弘前のヒロサになるのですよね～／R°さん

■ハイローザのバス停向かいの黄金焼がめっちゃ誘ってましたよね(笑)

一個50円くらいでしたからね 白あんにもっちり生地が好きです。／MASAON∞さん

■学生の頃、毎日2階の「チェンバロ」に何時間もいりびたってました。たった一杯のコーヒーで。でも、いつも優しく水のおかわり何杯も貰ったなあ～／neputamusumeさん

■ハイローザ 懐かしい。ファッション的なデパート？ ラジospacesとか 芸能人が来れるスペースもありました。ボクが高校生の時は、ゲーセンにて 結構 遊びまくってた→ハイパーオリンピックやギャラガなど。ボクが高校生の時は、ツッパリスタイルでしたよ(笑)／タカヒロさん

■中学生くらいの頃、『オレンジ～(名前忘れました)』という雑貨屋さんを見に行くのが楽しみでした。子供だったので、おこづかいでは商品を購入するのは半年に1度くらい(シャープペンシルとか)でしたが、都会の雰囲気を感じられる空間でした。／青森りんごさん

■毎週かな？アイドルがゲストの公開ラジオ放送をしてましたね。イベント備品搬出の1日バイトをしたくらいで、貧乏人の自分には接点がない施設でした。／ドラ息子さん

■ハイローザと言えば5階(だったかな)にあったテレビでビデオコンサートみたいなのを年に何回かやっていたのを覚えています。／はっち☆さん

■菊池薬局向かいで角は宮川の跡地。当時は待ち合わせ場所だったよね。レトログッズやアロマオイルのお店があったり、占いやったり、抽選会場だったり。地下には生協も入ってたっけ。／やまんばさん

■ハイローザサウンドカプセルの公開録音に声優・歌手の笠原弘子ちゃんがいるっていうから、ゆうきまさみファンの同志でもある妹を連れて見に行ったなー(ちなみにこの番組のゲストは姫乃樹リカがやたらにヘビロテだった記憶がある)／とろさん

■ウン十年前にハイローザでのRABラジオの公開録音に行った覚えがある。鈍行列車を乗り継いで弘前まで。滞在時間よりも移動時間のほうが長かったかな。／タカヒロさん

■ハイローザ・サウンドカプセル～♪初めて行った時は感動したな。／WaQさん

■いくらでも思い出が出てくる！ここで90年台初頭に買った服は今でも痛まないで使ってるので、昔のDCブランドは質が良かったんだな。／ぷちまだむ・彩香の太陽・彩香族さん

■隣町から弘前市の高校に進学して、市内の友達が、中学生から“庭”みたいな感じに通ってたとき、衝撃だったこんなシャレたところに、と／こまめさん

■雑貨屋さんの、ベイカーズ・ストリート、だったかな？店名間違っていたらすみません。／riceball-misosoupさん

■DCブランド全盛期でPINKHOUSE,NICOLE,MOGA,EASTBOYなどなど憧れのショップがあったな。あと、大江千里くんのビデオコンサートに熱狂しました！／Eddietintinさん

■弘南バスの下土手町のバス停事情は、方面別で違っていました。今でこそ下土手町の①②となっていますが、ハイローザの営業当時は、本町、市役所、駒越、茂森町、桔梗野方面の路線バスが当時の一番町ハイローザ前に乗り入れていたとのこと。ちなみに文化センター、亀の甲町、宮園、浜の町(弘前ビブレ(旧高崎営業所)発下土手町経由弘前駅行き、弘前バスターミナル発五所川原行きを含む)などは、現在もみちのく銀行土手町支店前《従来の下土手町》に乗り入れていています。／かつひら701さん

■1990年ころですがキャプテンシステム(NTTの情報端末)を設置していたと思います。ハイカラだったなあ。1995年頃、フロアは忘れましたがIVYが入っていましたね。いまはヒロ口に移転しています

が、1980年代中頃に最上階のゲームセンターでグラディウスやアフターバーナーをワクワクしながら見ていました。／ロラヤさん

■チェンバロでよく待ち合わせしてました～。携帯電話がいまほど普及していなかった時代、各テーブルに電話があり友達に電話してました☺️料金は会計の時に支払ったように記憶してます。初めてレアチーズケーキを食べたのもチェンバロでした☺️🎵／mitsu333922さん

■特に若い女性向けのファッションのブティックが多く、若いお客さんも多く、にぎやかでした。

■ときどき、春光堂のカメラなどの新商品フェアが開催されていた。

■2階にあった喫茶店チェンバロは、最近まで下土手町で営業していました。コロナの影響で閉店を余儀なくされ残念至極です。地下のスーパー(いとく・co-op)にもよく行きました。

■婚約指輪を買ってもらった。

■友達がカネボウ化粧品的美容部員をしていたので、よくお化粧をしてくれました。都会的なきれいな建物で、にぎやかだたなあと感じていました。

■1992年から98年にかけて弘前大学医学部写真部に所属していました。当時の写真部は年に2回、ハイローザの5階の展示場で写真展を開催していました。ハイローザは、学生でも負担できるくらいの料金を借りることができて助かっていました。写真展の前日、朝日会館側の搬入口から写真パネルを運びました。会場にはスポットライトが沢山準備しており、可動式のボードを動かして、好きなようにレイアウトし、ライティングできました。時々、通電していない天井のレールがあり、それをどうカバーするのが先輩部員の腕の見せ所でした。写真展は毎回2日間開催し、お客さんのアンケートで自分の作品が気に入ったと書かれてあるととても嬉しかったのを思い出します。当時はまだまだ土手町にも人通りがあり、買い物ついでに市民の皆さんが写真展を見に来てくれました。学生仲間も、土手町のケンタッキーやミスタードーナツ、川越の黄金焼きを差し入れてくれたりしました。無事に写真展が終わると、鍛冶町に繰り出して打ち上げし、深夜まで飲み明かしました。ハイローザに写真展を見に来てくださった市民の方を含めて、今も昔も、弘前市の皆さんは文化的な活動bに関心が高い方が多いと思います。ハイローザはその中心の一角を担っていたと思います。5階の催事場の脇に、タロット占いの機械が置いてありました。1回500円くらいしたでしょうか。学生には高かったのですが、写真展のたびに占っていました。割と当たっていたような気がします。／S・Oさん(茨城県)

■学校帰りによく友達と地下のフードコートでラーメンを食べて、3階?の雑貨屋さんのカフェでカフェオレを飲みました。イベントで、野々村真さんがゲストで来たときに友達と見に行った。1階にあったコムサ・デ・モードで成人式に着るスーツを買った。／あーちゃん(沖縄県)

40年前(昭和55年3月)、土手町にオープンしたファッションビル



ハイローザの思い出募集!

店内の様子や、行ったときの楽しみ、よく通ったお店など、あなたのハイローザの思い出を教えてください。

応募方法
応募用紙に思い出・連絡先を書いて、中央公民館事務室前のポストに投函、または職員にお渡しください。郵送/FAX/Eメール送信も可能です。

応募しめきり
令和3年2月10日(水)

応募先・お問い合わせ
〒036-8356 弘前市大字下白銀町19-4
弘前市立中央公民館「ハイローザの思い出」係
TEL:0172-33-6561 FAX:0172-33-4490
E-Mail: chuuoukou@city.hirosaki.lg.jp

お寄せいただいた思い出は、2月18日(木)開催予定の「ベテランズセミナー」でご紹介するほか、中央公民館事務室前への掲示、HP・SNSへの掲載、県史資料として活用します。

弘前市立中央公民館

たくさんの思い出、ありがとうございました。